

暑さ寒さも彼岸まで は本当か

気象キャスターネットワーク



秋のお彼岸と言えは「おはぎ」

暑さ寒さも彼岸まで

9月23日は秋分の日です。秋のお彼岸の中日です。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉を耳にすることも多いと思いますが、実際のところははどうでしょう。

9月23日の各地の最高気温の平年値をみると、北国の札幌や仙台では25度を下回る日が増えて、秋風を感じる日も増える時期といえそうです。一方で、東京や私が住んでいる福井、それから西日本各地は25度以上で、まだまだ半そでの出番の日も多く、残暑を引きずる時期です。沖縄・那覇にいたっては、ようやく30度を下回るころ。ある意味、真夏日は彼岸まで…といえるかもしれませんね。確実なのは、この日から昼よりも夜の時間の方が長くなっていきます。一方で、昼の時間が長くなっていくのが春分。春のお彼岸の頃の最高気温はというと、札幌は5度、そのほかも秋のお彼岸の頃と比べると那覇をのぞいては12～3度の開きがあるのが少し意外です。

	9月23日の最高気温 (°C) 〈平年値〉	3月21日の最高気温 (°C) 〈平年値〉
札幌	20.9	5.0
仙台	23.0	10.1
東京	25.2	14.2
福井	25.8	12.5
大阪	27.7	14.5
福岡	27.1	15.2
那覇	29.8	22.3

秋分の日、春分の日、最高気温の平年値

全部読めますが「二十四節気」

この秋分や春分を「二十四節気」といいます。太陽の動きをもとに、1年を24の季節にわけて名付けられたものです。立春、立夏など、耳慣れたものから、小満や

雨水など、あまり認知されていないものもあります。余談ですが、私は、気象の仕事に携わるまで、恥ずかしながら啓蟄が読めませんでした。二十四節気は表のように、春夏秋冬がそれぞれ6つの暦に分けられます。二十四節気では立春が1年のスタート。暦の上では春がスタートするわけですが、実際は2月4日の立春の頃は、寒さが最も厳しいころでもあり、なかなか「春が始まった」とは感じづらいです。それも寒さの底から少しずつ気温が上向きになる、という意味では春の始まりといえそうです。また、立春を過ぎると、早春の中でも早い花が咲きだし、フキノトウが顔を出し…と、なんだかんだと「もうそんな時期か」と季節を感じられるようになります。

色々な目安になる二十四節気

また、気象庁が発表する情報でも、この二十四節気を発表の目安にしているものもあります。

例えば、東京地方と近畿地方で発表される「木枯らし1号」は、期間の定義があるのですが、東京地方は「晩秋から初冬にかけて」という定義、近畿地方は「霜降から冬至にかけて」としています。また、春一番も「立春から春分まで」という期間を設けています。また「秋雨前線」という言葉も、「立秋も過ぎたし、使ってもいいかな」なんて思ったりもします。

七十二候にも注目

そして、気象キャスターが季節の移り変わりに注目するもう一つの暦が「七十二候」と言われるものです。七十二候は、二十四節気をさらに3つに分けたものです。花や鳥など動植物の動向や自然現象がそのまま表されているのが特徴です。たとえば「鴻雁来」や「菊花開」など。昔からこの七十二候も大切な農作

業の目安でした。農作業に携わっていなくても、この七十二候に注目して、生活をしていると、普段何気なく通り過ぎていた道端に咲いている花で季節を感じ

二十四節気	七十二候	二十四節気	七十二候	二十四節気	七十二候	二十四節気	七十二候
立春	はるかぜこおりと東風凍を解く うぐいすな黄鶯睨院く うおこりのほ魚氷に上る	立夏	かわずはじな蛙始めて鳴く みみずい蚯蚓出する たけのこしょう竹笋生ず	立秋	りょうふういた涼風至る ひぐらしな寒蟬鳴く のうむしようこう蒙霧升降す	立冬	つばきはじみひら山茶始めて開く ちはじこお地始めて凍る きんせんこうば金盞香し
雨水	どみやくるおお土脈潤い起こる かすみはじたたび霞始めて霽く くさきもうご草木萌え動く	小満	かいておくわく蚕起きて桑を食う べにばなさか紅花栄う ばくしゅういた麦秋至る	処暑	わたはなしべひら綿の柎開く てんちはじさむ天地始めて肅し こくものすなわちみの禾乃登る	小雪	にじかくみ虹蔵れて見え さくふうははら朔風葉を払う たちばなはじ橘始めて黄なり
啓蟄	すこもりのむしとひら蝻虫戸を啓く ももはじわら桃始めて笑う なむしちようか菜虫蝶と化す	芒種	かまきりしょう蝗螂生ず ふそうほたるな腐草蝻と為る うめのみき梅子黄なり	白露	くさつゆしろ草露白し せきれいな鶴鶴鳴く つばめさ玄鳥去る	大雪	そらさむふな閉塞く冬と成る くまなこも熊穴に蟄る さけむら鱈魚群がる
春分	すずめはじす雀始めて巣く さくらはじみら桜始めて開く かみなりこえはつ雷声を発す	夏至	なつかれくさかる乃東枯る しょうぶはな菖蒲華さく はんげしょう半夏生ず	秋分	かみなりすなわちこえおさ雷乃声を収む すこもりのむしととぎ蝻虫戸を壊す みずはじかれ水始めて潤る	冬至	なつかれくさしよう乃東生ず しかつのお麩の角解つる せつかむぎい雪下麦を出だす
清明	つばめきた玄鳥到る こうがんきた鴻雁北へかえる にじはじあらわ虹始めて見る	小暑	おんぶういた温風至る はずはじみら蓮始めて開く たかすなわちわざら鷹乃学を習う	寒露	こうがんきた鴻雁来る きつかりら菊花開く きりぎりすとあ蟋蟀戸に在り	小寒	せりすなわちさか芹乃栄う すいせんこう水泉動く きしはじな雉始めて唯く
穀雨	あしはじしょう霞始めて生ず しもやなえい霜止んで苗出ず ぼたんはな牡丹華さく	大暑	きりはじはなむす桐始めて花を結ぶ つちうるおむあつ土潤いて溼し暑し たいとうときどき大雨時行る	霜降	しもはじふ霜始めて降る しくれときどきほどこ霧時施す もみじつたき楓黄なり	大寒	ふきのとうはな款冬華さく みずさわあつかた水沢腹く堅し にわとりはじにゅう鶏始めて乳す

※読み方は、諸説あります。

暦を知ると暮らしが楽しい

気象キャスターの一番の使命は、気象災害で命を落とすことがないように危険を知らせ、身を守る行動をとってもらいたいと思っています。穏やかな日には空を見上げる楽しさや、季節を肌で感じる楽しさをお伝えするのも、気象情報を身近に感じてもらうために大切なことだと思っています。二十四節気を大切に、そろそろあれが咲くかなとか、あいつが鳴くかな…と考えていると1年があつという間です。皆さんもぜひ、暦に敏



金木犀の写真

感になって、積極的に季節を楽しんでみてください。私は、秋分のころになるとある香りを鼻で探し始めます。そう、金木犀が香りだすのです。

そして寒露（今年は10月8日）を過ぎるとそろそろかな…と気になりだすことがあります。

たり、目の前を飛んでいく鳥が燕だ！と気づいたり、発見を増やしてきます。是非、皆さんにも発見をしてほしいと思い、一覧表を作成してみました。



九頭竜湖 (福井県大野市)

私が住んでいる福井県には、九頭竜湖というダム湖があり、県内でもいち早く紅葉がスタートします。10月

も中旬にさしかかると、わくわくしてきます。

「秋はダムから」と思って楽しみにしているのですが、皆さんのお住まいの地域はいかがですか？

ふたむらちづこ
二村 千津子 Profile

中京テレビ「ズームイン!SUPER」、テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」などの気象キャスターを経て、平成29年4月よりNHK福井「ニュースザウルスふくい」で気象情報を担当。趣味は御朱印巡りと酒蔵巡り。ダムカードも少しずつ増えてきている。つまり巡るのが好き。